

2022年度乗務員研修計画				実施日
1	バスを運転する場合の心構え	プロの運転者として責任を果たす運転を認識させる	交通機関としてのバス事業の社会性を意識しよう ひとたび事故を起こすと人身被害が大きい おもいやり、譲り合いの気持ちで運転	
2	運行の安全・乗客の安全確保	事業用自動車の運転手にとって遵守すべき法令について理解させると共に遵守すべき事項を認識させる	日常点検整備の徹底 点呼時の注意点指示事項・危険情報 道路交通法	
3	バスの構造上の特性	バスの車高・車幅・重量から死角やスピードに影響がある事を認識させ特性に合った運転をする事を認識させる	死角に隠れた危険 高さ制限の標識 バック時は、誘導を依頼	
4	乗車中の旅客の安全確保	旅客の安全を守る運転について理解させる	シートベルトの着用を徹底 急のつく運転の危険性 カーブでの遠心力	
5	乗降時の安全確保	乗降時の操作等による人や、障害物に接触等乗降時の危険性を認識させ乗降の安全を確保するための留意が必要であることを理解させる	乗客が完全に乗車したことを確認してドアを閉める バスを降車する乗客と自転車、バイクとの衝突を防ぐ 乗客が完全に降車したことを確認してドアを閉める	
6	運行経路・経路の道路及び交通状況	定期運行でのコース上の危険個所の把握と、悪天候時に対する対処法	いつも通る道でも油断しない 同じ道でも時間帯によって危険状況が変わる チェーン装着訓練	
7	危険の予測及び回避と緊急時対応	危険予知訓練の手法を用いて歩行者や自転車の行動特性及び昼夜、天候における危険の予測・回避法を理解させる	高齢者の特性を知り危険行動を予測 他車の危険な行動を予測し車内事故防止 悪天候時の危険を予測	
8	運転者の運転適性に応じた安全運転	自分の性格等を理解させ安全運転につなげる様に指導を実施	自分の運転の欠点を理解し意識して安全運転 動作優先の運転になっていないか常に意識 随時個別に対応	
9	運転者の生理的・心理的要因	事故に結びつく生理的・心理的な危険要因を認識させる	休憩時間が長くてもアルコールは絶対に飲まない 連続運転による疲労、遅れを気にしての急ぎの心理 休日の過ごし方	
10	健康管理の重要性	健康管理が安全運転の基本である事を認識させる	健康診断の重要性を理解する 少しでも体調不良を感じたら無理をせず相談 栄養バランスの良い食事	
11	安全装置を備える自動車の運転方法	運転支援装置の役割機能を認識し適切な使用方法を理解させる	運転支援装置の機能を理解する	
貸切バス事業者が実施する指導監督				
1	ドライブレコーダーを利用した安全運転	ドライブレコーダーの記録を個別指導に活用	随時個別に対応	
2	ドライブレコーダーの記録の共有・活用	事故映像等を活用し危険体験を共有	他の乗務員の運転を見て安全な運転方法を学ぶ 事故ヒヤリハット映像から危険な運転者心理を考える	
その他				
1	安全運転講習会	門真警察署に依頼	門真警察署と相談の上実施	
2	救命救急講習	守口門真消防組合に依頼	守口門真消防組合と相談の上実施	